職務経歴書

# 職務経歴（概要）

2003 年から世の中に貢献（世の中に喜ばれる）できる IT エンジニアをめざし奮闘中。

主要なもの順で概要を記載。

## システム製品パッケージ開発

AI システムパッケージ製品の開発製造業向け

外観検査システムの企画・開発・事業の技術リーダとして、⽴ち上げから製品化と事業化を主導技術リーダとしては開発⽅針からアーキテクチャ設計、仕様化すべてを統括

AI を利⽤した事業で必要なサービス設計の開発やガイドラインの策定を主導

たとえば、実証実験（PoC）のサービス策定から実施内容の設計や契約検討各種展⽰会への出展事業化にともなう、要件定義から導⼊までの⾻⼦決定および、関係アライアンスの開拓・関係構築を主導

EC パッケージバージョンアップ開発バージョンアップの設計責任者を担当その後、各種マイナー機能開発を⽬的としたプロダクト責任者を担当関連サービスとの外部連携仕様統括を担当主な追加機能外部決済サービス連携、CMS機能(外部製品連携取込み)、ソーシャルログイン機能、各種マーケティングツール連携、その他、顧客および事業部要求や市場が求める機能開発を多数実施

## グループ会社システム保守費削減コンサルティング

保守費⽤の現状課題を調査し削減コンサルティング

現状保守費⽤の内訳を可視化し、問題点の洗い出しを実施課題の達成が可能かどうかを顧客と⽅向性を協議し優先順位つけを主導具体的な施策による実現可能なコスト削減案の提⽰

コスト削減を維持継続するための PDCA サイクルの⽴案

上記分析を随時⾏い、資料化、プレゼンを⾼頻度に実施し顧客組織を主体的に動かした経験中学受験向け採点システム構築

既存業務フローの業務分析からシステム化による新業務移⾏で⼤幅コストダウン、実⾏プロジェクト

の主要メンバーとして活躍システム開発の全⾏程をリーダとして経験した（要求分析〜導⼊まで）

1 期はサブシステムのリーダだったが、次期で顧客から指名され全システムのリーダを経験顧客ステークホルダ（経営層や各種システム責任者）との折衝や関連会社との仕様調整を実施都度現場視察を⾏い業務改善提案を率先的に⾏うことで、顧客と深く信頼でつながる関係を築く

# 技術スタック・得意とする経験スキルパッケージ製品開発

2 つの製品の企画から運⽤・改善までを⻑期にわたり実施実績あり。

なかでも、直近の AI製品においては知⾒ゼロからのスタートで、技術だけではなくビジネスとして通⽤するために必要な観点を持ちつつプロジェクトをリーディング。

## **具体的には**

製品の全体フェーズ（アーキテクト、機能設計、開発、テスト、管理）を技術で裏付けながら幅広く主導開発プロジェクトのリーディングとチームビルディングを実施製品コンセプトの⽴案・事業計画の策定とその実⾏と実現積極的に最新技術を取り込み市場ニーズに対応

AI プロダクトの特性を理解したシステム開発の計画・実践製品化に必要なアライアンスの選定と折衝・調達

## プロジェクトチームビルディングと現状改善

製品を開発するメンバーと案件を実施するメンバーの⼊れ替わりが激しいなか、常に新しいメンバーが楽しんで挑戦できるプロジェクト環境を構築することを⼼がけた。

その結果、メンバーが成⻑できまた⾃らも成⻑ができる環境を構築し、効率的で⽣産性が⾼いチーム環境で維持できるように創意⼯夫を実践した。

### 具体的には

新技術に対する情報収集とその連携をチームで密に⾏う

チーム内の無駄を省く⽂化の醸成（他者の時間を奪わないようにする⽂化）部⾨内の会議の進め⽅や、資料（内部、外部含め）をコンサル時代の知⾒により改善ツールに頼ることで業務が遂⾏しやすくなるならば常に検討を進める

⼀⼈ひとりに対するコーチングの徹底によりお互いの成⻑ができた

チーム内だけではなく、部⾨・社内への情報共有および運⽤共有の実施で新たな仕組みが⽣まれた

社内へのMicrosoft Teamsの利⽤推進、社内BIツールの導⼊、社内テスト標準品質管理指標の構築、DevOps ツールの提供、Azure の利⽤推進未知なる事案に対する問題解決能⼒

製品開発のゴールとは、市場にない世の中に貢献できる製品を開発し広く利⽤してもらうこと。これには、あらたな技術を調査することだけではなく、プロジェクトの推進⾃体やビジネスの定義（あり⽅）にも⼯夫が必要になる。

プロジェクトを進めるにあたり常に現れる問題・課題は、対象製品がターゲットとしている分野を広くとらえ、マーケットインとプロダクトアウトのバランスを取りながら最適解を探り出し、推進した。

また、ビジネス化するために必要なことは多岐にわたるが、すべてをいっぺんに⾏うことは難しいため、ターゲットが最も要求していることに対し、新たな技術を織り交ぜながら柔軟にサービスを提供した。**具体的には**

ビジネス化に必要な部品を仮説を⽴てながら⾃ら⼿を動かし実践しトライ＆エラーを繰り返した展⽰会や説明会、その他情報媒体での⾒せ⽅に常に⼯夫を施した顧客ごとにシステム化までの道筋をたて、それに合わせたセールスプランを構築したいままでの製品開発とは違い、種類に分けて開発⼿法を分けた（オンプレはハイブリッドアジャイルとクラウドはアジャイル）

各種勉強会やセミナー、展⽰会などで情報収集し知りえた知⾒を集約しながら最適解を探る

保有資格

**資格名 取得年**

|  |  |
| --- | --- |
| 基本情報技術者試験 | 2006.04 |
| ネットショップ検定 レベル 1 | 2015.08 |
| ネットショップ検定 レベル 2 | 2016.02 |
| メンタヘルスマネジメント検定 Ⅲ 種 | 2017.11 |
| JDLA Deep Learning For GENERAL | 2017.12 |
| MCPC IoTシステム技術検定中級 | 2018.07 |
| Azure AZ-900︓Microsoft Azure Fundamentals | 2019.08 |
| Python 3 エンジニア認定基礎試験 | 2019.08 |
| Python 3 エンジニア認定データ分析試験 | 2019.09 |

統計検定 3 級 2020.02

# 職務経歴詳細

## 株式会社システムインテグレータ（2013.02〜2022.01）

（資本⾦ : 3億円. 従業員 : 228 名. 設⽴ 1995 年 3 ⽉. 売上⾼ 42.5 億）[2022 年 2⽉時点]

### 『 ⾃社製品開発のノウハウを得てより広く社会へ貢献できるエンジニアになるために⼊社 』

【職務概要】

⾃社製品の製品開発業務が主になる。⾃社の主要パッケージであるECパッケージのバージョンアップの技術リーダとして複数度リリースを⾏い、同社事業部や他社パッケージベンダから評価を得る。

その後、社運をかけた新製品開発の責任者に抜擢され、技術責任者として製品開発を牽引。その後事業部の⽴ち上げを主導し、部⾨の技術責任者であるスペシャリストとして案件獲得ができる体制を作り組織体制を確⽴した。

【職務経歴詳細】※期間降順

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **期間** | **プロジェクト内容** | **環境/規模** | **役割** |
| 2017.10 〜  2022.01 | **AI 外観検査パッケージ開発兼、事業開発**  ・画像を利⽤したDeeplearningによる外観検査パッケージの開発  ・製品基軸による外観検査ソリューション事業の開発  [担当業務]  製品企画、製品開発、事業開発、ソリューション開発すべての技術統括責任者兼、プロダクトマネジャー  ・製品技術⽅針の検討および決定  ・ハードウェアアライアンスとのパートナーシップ主導  ・クラウドプロバイダとの事業戦略を踏まえた協⼒関係構築  ・事業化に伴うサービスメニューの検討  [実績]  ・事業戦略に沿った製品開発を 4 度実施しリリース  ・アーキテクトとして技術選定と検証  ・撮像メーカーとの協業による営業経路確⽴  ・事業開発メンバーの育成とコーチングによる権限移譲  ・ハードウェアメーカーとの協業確⽴による調達経路の確  ⽴  ・クラウドプロバイダおよびハードウェアメーカとの共同展⽰会を多数実施し集客を増やした  ・競合会社との AI 技術交流会を設⽴し交流だけではなく新たに技術が活⽤できる可能性が⾒込める市場を多⾯的に分析した  ・顧客の現場環境での共同勉強会を実施し事業の本質を⾒極め、事業開発の戦略に役⽴てた | [環境]  Python, Django, Flask,  Fast API, PostgreSQL,  Vue.js,  Keras, Tensorflow,  Pytorch  Docker  GitHub, Azure,  Azure Machine  Learning,  Azure WebApps,  Azure DevOps  [規模]  総製品開発費 2 億、事業部⾨ 10 名に増加  (設⽴当初 3名) | プロダクト責任者兼事業開発技術責任者 |
| **期間** | **プロジェクト内容** | **環境/規模** | **役割** |
| 2013.10 〜  2017.09 | **ECパッケージ製品開発**メジャーバージョンアップ 1 回マイナーバージョンアップ 6 回  [担当業務] 製品企画、要件定義 〜 リリース  ・外部製品との仕様策定  ・事業部との仕様調整  ・プロダクト製品開発プロジェクト管理  [実績]  ・メジャーバージョンアップによる既存パッケージ導⼊開発効率の改善(概ね 2 倍)  ・新機能開発による事業部案件獲得に貢献 (⼤型案件 3 件獲得)  ・他社製品ベースにCMSパッケージの開発  ・2 つの外部決済の標準機能対応に必要な開発  ・各種マーケティングツールとの連携開発  ・プロジェクト品質管理を可視化（BIツール）し管理する  ⽅法を確⽴し全社展開し全社品質管理に採⽤される  ・品質を⾼めるための設計書やテスト仕様書の共通化を実施し事業部へ展開。事業部スタンダートとして採⽤される  ・コミュニケーションツールが乱⽴していた状況を  Microsoft Teamsの 1本化として全社統⼀を図り⾃チームだけではなく全社効率化を実施した | [環境]  Java, Oracle,  PostgreSQL,  Hibernate4,  SpringFramework4,  Bootstrap3,  Thymeleaf3  Concrate5  GitHub, AWS  Qlick Sense, PowerBI  [規模]  0.5 〜 2.0 億プロジェ  クト, メンバーは 3 〜 8 ⼈程度  ※詳細はプロジェクトごとに異なるため割愛 | 製品開発リーダ  プロダクトリーダ |

### ECパッケージ導⼊開発プロジェクト

#### [環境]

・某カード会社向けECサイト構築

Java,

・某ネットスーパーECサイト構築

SpringFramework,

[担当業務]

JavaScript, 開発プロジェクトリーダー

Jenkins

2013.02 ・案件仕様調整 プロジ

#### [規模]

〜 ・プロジェクトマネジメント（メンバー、QCD管理） ェクト

0.3 〜 1.5 億プロジェ

2013.09 ・導⼊⽀援 リーダクト, メンバーは 3

[実績]

〜 15 ⼈程度

・顧客要望のカスタマイズ開発実施

※詳細はプロジェク

・プロジェクトメンバー管理を実施しプロジェクトの QCD

トごとに異なるため

⽬標を達成

割愛

・開発効率化のために⾃動化ツールの導⼊

## 株式会社フューチャーアーキテクト（2011.12〜2013.02）

### 『 システムコンサルティングができるITアーキテクトを⽬指し⼊社 』

【職務概要】

IT アーキテクトとしての実績を積む為に転職したが、過去の経験を買われて IT を武器とした課題解決型のコンサルティングプロジェクトである 某国内最⼤規模信託銀⾏のITコスト適性化コンサルティング作業を実施。 顧客のITコスト適性化のため、課題の整理、問題の可視化を⾏い、それに対する解決施策を⾏った結果、⼤幅なコスト削減を実現。継続してコンサルティングを依頼され実施した。

【職務経歴詳細】※期間降順

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **期間** | **プロジェクト内容** | **環境/規模** | **役割** |
| 2012.05 〜  2013.01 | **国内最⼤規模信託銀⾏︓ITコスト適性化のコンサルタント**顧客の年々増加するITコスト削減に向けてコンサルティングを実施  [担当業務]  コンサルティング  ・ITコストの現状整理、課題抽出  ・ITコスト（主に外注費）の可視化（現状把握できない為、把握の⽅法プロセス等のコンサルティング実施）  ・削減施策の提⾔と実現プロセスの検討及び実施（顧客と共同実施︓効果測定）  [実績]  ・保守作業における作業実態の可視化プロセス構築  ・外部委託先IT要員の実態把握より価格妥当性判断（IPAスキル標準、市場価格 参考）  ・外部委託先⾒積り妥当性判断コンサルティング  ・ハード、ソフト購⼊費・保守費の妥当性判断コンサルティング  ・上記の継続的PDCAサイクルプロセスの提⾔以上により顧客の年間保守費200億円中10億円削減実現（11年度⽐較） | [環境]  PowerPoint,  SQL Server  [規模]  4 ⼈ × 8ヵ  ⽉ (32⼈⽉) | コンサルティング、メンバ |

### 地⽅銀⾏融資⽀援システムバージョンアップ

[環境] 顧客融資⽀援業務システムの利便性向上のための改修

Windows7,

[担当業務]

Java7, 基本設計, 詳細設計, 製造を主導

RtFa(⾃社通

[実績]

信コンポー 設計/製

2011.12 ・メンバーへ技術教育（DBチューニング・パフォーマンス管理⽅

ネント), 造のサブ

〜 法・リリース⼿順）

Oracle 11, リーダ

2012.04 ・DevOps環境構築

Flex2.0 配下 5 名

・テスト計画の改善

[規模]

[備考]

20⼈ × 5ヵ

N次開発だったため、既存のプロジェクト推進⽅法が確⽴されてい

⽉ (100⼈⽉た。そのため、既存の良さを残しつつさらなるプロジェクトの効

規模) 率化を実現し、達成した。

## 株式会社ライテック（2003.04〜2011.12）

【職務概要】

⼤学院を卒業後、情報知識を社会に還元できるシンクタンクとシステム開発に強みを持つ会社へ⼊社し、システム開発プロジェクトの全体を経験。

始めは様々な受託案件を数多くメンバーとして参画し、プログラミングからプロジェクトリーディングまでを学び、後半 4 年は特定顧客からの指名もありプロジェクトマネージメントからプロジェクトリーダまで幅広く活躍。

【職務詳細 ※10 年以上前のためサマリで記載

プログラミング技術とリーダー技術の蓄積期間 (2003.04 〜 2007.05)

⼤⼿新聞社向け印刷輸送管理システム (プログラマ / VisualBasic 6.0 / Oracle 9i : 6 ヵ⽉、配下 5 名) 警視庁向け⾞両検査システム (プログラマ/ VisualBasic 6.0 / Win32API : 4 ヵ⽉, 単独作業) 携帯会社向け営業⽀援システム (プログラマ/ レガシーASP 6.0 / VBScript / IIS : 4 ヵ⽉, 配下 3 名)

⼤⼿メーカー向けコールセンター窓⼝システム (プログラマ/ Java 5 / JavaScript / FUJITSU

Software Interstage : 6 ヵ⽉, 配下 6 名)

ベンダー専属 プログラマ (ベンダー専属SEとして様々なプロジェクトのプログラマとして参画 :

2 年 3 ヵ⽉, 単独作業) 某省庁向け物品管理システム (リーダプログラマ/ VB.NET / Win32 / Windows Embedded : 6 ヵ

⽉, 配下 1 名)

⼤⼿新聞社向け印刷輸送管理次期システム (リーダー/ VB.NET / Java / Oracle 10g : 6 ヵ⽉, 配下 5 名)

プロジェクトリーディングとプログラマとして活躍期間 (2007.06 〜 2011.12)

⼤⼿学習塾向け次期採点システム構築 (1次) 役割 ︓ プロジェクトリーダ兼メインプログラマ (配

下 2 名)

⼤⼿学習塾向け次期採点システム構築 (2次) 役割 : プロジェクトマネージャ兼プロジェクトリーダ (配下 20 名)

# 業務外活動

某⼤学産学官連携協議会にてAI技術をビジネス利⽤する際の注意点セミナにて登壇 2020.06 [正常品データだけで構築可能なAIが熟練⼯を全数⽬視検査から解放する 2018.12.03 MONO ist 投稿](https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/1811/26/news003.html)